



ASA の概要

ASA は、アドオンモジュールとの統合サービスに加え、高度なステートフル ファイアウォールおよび VPN コンセントレータ機能を 1 つのデバイスで提供します。ASA は、複数のセキュリティコンテキスト（仮想ファイアウォールに類似）、クラスタリング（複数のファイアウォールを 1 つのファイアウォールに統合）、トランスペアレント（レイヤ 2）ファイアウォールまたはルーテッド（レイヤ 3）ファイアウォールオペレーション、高度なインスペクションエンジン、IPsec VPN、SSL VPN、クライアントレス SSL VPN サポートなど、多数の高度な機能を含みます。

- [ハードウェアとソフトウェアの互換性（1 ページ）](#)
- [VPN の互換性（1 ページ）](#)
- [新機能（1 ページ）](#)
- [ファイアウォール機能の概要（7 ページ）](#)
- [VPN 機能の概要（11 ページ）](#)
- [セキュリティ コンテキストの概要（12 ページ）](#)
- [ASA クラスタリングの概要（13 ページ）](#)
- [特殊なサービスおよびレガシー サービス（13 ページ）](#)

ハードウェアとソフトウェアの互換性

サポートされるすべてのハードウェアおよびソフトウェアの一覧は、[『Cisco ASA Compatibility』](#)を参照してください。

VPN の互換性

[『Supported VPN Platforms, Cisco ASA Series』](#)を参照してください。

新機能

このセクションでは、各リリースの新機能を示します。



(注) syslog メッセージガイドに、新規、変更済み、および廃止された syslog メッセージを記載しています。

ASA 9.14(4) の新機能

リリース日：2022 年 2 月 2 日

このリリースに新機能はありません。

ASA 9.14(3)

リリース日：2021 年 6 月 15 日

このリリースに新機能はありません。

ASA 9.14(2) の新機能

リリース日：2020 年 11 月 9 日

機能	説明
SNMP 機能	
サイト間 VPN 経由の SNMP ポーリング	サイト間 VPN 経由のセキュアな SNMP ポーリングの場合、VPN 設定の一部として外部インターフェイスの IP アドレスを暗号マップアクセスリストに含めます。

ASA 9.14(1.30) の新機能

リリース日：2020 年 9 月 23 日

機能	説明
ライセンス機能	
ASAv100 永続ライセンス予約	ASAv100 で製品 ID L-ASAV100SR-K9= を使用した永続ライセンス予約がサポートされるようになりました。 注 ：すべてのアカウントが永続ライセンス予約について承認されているわけではありません。

ASAv 9.14(1.6) の新機能

リリース日：2020 年 4 月 30 日



(注) このリリースは、ASAv でのみサポートされています。

機能	説明
プラットフォーム機能	
ASAv100 プラットフォーム	ASAv 仮想プラットフォームに、20 Gbps のファイアウォールスループットレベルを提供するハイエンドパフォーマンスモデルの ASAv100 が追加されました。ASAv100 はサブスクリプションベースのライセンスで、期間は 1 年、3 年、または 5 年です。 ASAv100 は、VMware ESXi および KVM でのみサポートされます。

ASA 9.14(1) の新機能

リリース日：2020 年 4 月 6 日

機能	説明
プラットフォーム機能	
Firepower 4112 用の ASA	Firepower 4112 用の ASA を導入しました。 変更されたコマンドはありません。 (注) FXOS 2.8(1) が必要です。
ファイアウォール機能	
show access-list の出力でポート番号を表示できる。	show access-list コマンドに数値キーワードが追加されました。これを使用すると、アクセス制御エントリの名前ではなくポート番号を表示できます。たとえば、www の代わりに 80 を表示できます。
object-group icmp-type コマンドが非推奨になった。	object-group icmp-type コマンドは、このリリースでも引き続きサポートされますが、推奨されず、将来のリリースで削除される可能性があります。すべての ICMP タイプのオブジェクトをサービス オブジェクト グループに変更し (object-group service)、オブジェクト内で service icmp を指定してください。

機能	説明
Kerberos キー発行局 (KDC) 認証。	<p>Kerberos キー配布局 (KDC) からキータブファイルをインポートできます。システムは、Kerberos サーバーを使用してユーザーを認証する前にサーバーがスプーフィングされていないことを認証できます。KDC 認証を実行するには、Kerberos KDC で <code>ホスト/ASA_hostname</code> サービスプリンシパル名 (SPN) を設定してから、その SPN のキータブをエクスポートする必要があります。その後、キータブを ASA にアップロードし、KDC を検証するように Kerberos AAA サーバークラスを設定する必要があります。</p> <p>新規/変更されたコマンド : <code>aaa kerberos import-keytab</code>、<code>clear aaa kerberos keytab</code>、<code>show aaa kerberos keytab</code>、<code>validate-kdc</code></p>
ハイ アベイラビリティとスケラビリティの各機能	
データユニットとの設定の並列同期	<p>制御ユニットでは、デフォルトで設定変更がデータユニットと同時に同期化されるようになりました。以前は、順番に同期が行われていました。</p> <p>新規/変更されたコマンド : <code>config-replicate-parallel</code></p>
クラスタへの参加失敗や削除のメッセージが、以下に追加されました。 <code>show cluster history</code>	<p>クラスタユニットがクラスタへの参加に失敗した場合や、クラスタを離脱した場合の新しいメッセージが、<code>show cluster history</code> コマンドに追加されました。</p> <p>新規/変更されたコマンド : <code>show cluster history</code></p>
インターフェイス機能	
Firepower 1000 および 2100 の 1GB ファイバインターフェイスで速度の自動ネゴシエーションを無効にできる	<p>自動ネゴシエーションを無効にするように Firepower 1100 または 2100 SFP インターフェイスを設定できるようになりました。10GB インターフェイスの場合、自動ネゴシエーションなしで速度を 1GB に設定できます。速度が 10 GB に設定されているインターフェイスの自動ネゴシエーションは無効にできません。</p> <p>新規/変更されたコマンド : <code>speed nonegotiate</code></p>
管理およびトラブルシューティングの機能	
新しい <code>connection-data-rate</code> コマンド	<p>この <code>connection-data-rate</code> コマンドは、ASA での個別接続のデータレートの概要を提供するために導入されました。このコマンドを有効にすると、フローごとのデータレートが既存の接続情報とともに提供されます。この情報は、高いデータレートの望ましくない接続を識別してブロックし、最適な CPU 使用率を確保するために役立ちます。</p> <p>新規/変更されたコマンド : <code>conn data-rate</code>、<code>show conn data-rate</code>、<code>show conn detail</code>、<code>clear conn data-rate</code></p>

機能	説明
HTTPS アイドルタイムアウトの設定	<p>ASDM、WebVPN、および他のクライアントを含む、ASA へのすべての HTTPS 接続のアイドルタイムアウトを設定できるようになりました。これまでは、httpserver idle-timeout コマンドを使用して ASDM アイドルタイムアウトを設定することしかできませんでした。両方のタイムアウトを設定した場合は、新しいコマンドによる設定が優先されます。</p> <p>新規/変更されたコマンド：http connection idle-timeout</p>
NTPv4 のサポート	<p>ASA が NTPv4 をサポートするようになりました。</p> <p>変更されたコマンドはありません。</p>
新しい clear logging counter コマンド	<p>show logging コマンドは、ASA で設定された各ロギングカテゴリについてログに記録されたメッセージの統計を提供します。clear logging counter コマンドは、ログに記録されたカウンタと統計をクリアするために導入されました。</p> <p>新規/変更されたコマンド：clear logging counter</p>
アプライアンスモードの Firepower 1000 および 2100 での FXOS のデバッグコマンドの変更	<p>debug fxos_parser コマンドは簡素化され、FXOS に関して一般に使用されるトラブルシューティングメッセージを提供するようになりました。その他の FXOS デバッグコマンドは、debug menu fxos_parser コマンドの下に移動されました。</p> <p>新規/変更されたコマンド：debug fxos_parser、debug menu fxos_parser</p>
show tech-support コマンドの拡張	<p>show ssl objects コマンドと show ssl errors コマンドが show tech-support コマンドの出力に追加されました。</p> <p>新規/変更されたコマンド：show tech-support</p> <p>9.12(4) でも同様です。</p>
モニタリング機能	
Net-SNMP バージョン 5.8 のサポート	<p>ASA は Net-SNMP (IPv4 と IPv6 の両方を使用して SNMP v1、SNMP v2c、および SNMP v3 を実装するために使用されるアプリケーションスイート) を使用しています。</p> <p>変更されたコマンドはありません。</p>

機能	説明
SNMP の MIB および OID	<p>ASA は、CISCO-REMOTE-ACCESS-MONITOR-MIB のサポートを拡張し、SNMP を介して RADIUS からの認証の拒否/失敗を追跡します。この機能により、次の 3 つの SNMP OID が実装されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • crasNumTotalFailures (失敗の総数) • crasNumSetupFailInsufResources (AAA およびその他の内部エラー) • crasNumAbortedSessions (中断されたセッション) オブジェクト <p>ASA は、Advanced Encryption Standard (AES) 暗号アルゴリズムのサポートを提供します。この機能により、次の SNMP OID が実装されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • usmAesCfb128Protocol • usmNoPrivProtocol
SNMPv3 認証	<p>ユーザー認証に SHA-256 HMAC を使用できるようになりました。</p> <p>新規/変更されたコマンド : snmp-server user</p>
debug telemetry 表示されていません。	<p>debug telemetry コマンドを使用すると、テレメトリに関連するデバッグメッセージが表示されます。このデバッグは、テレメトリレポートの生成時にエラーの原因を特定するために役立ちます。</p> <p>新規/変更されたコマンド : debug telemetry、show debug telemetry</p>
VPN 機能	
VTI での DHCP リレーサーバーのサポート	<p>DHCP リレーサーバーを設定して、VTI トンネルインターフェイスを介して DHCP メッセージを転送できるようになりました。</p> <p>新規/変更されたコマンド : dhcprelay server</p>
複数ピアクリプトマップの IKEv2 サポート	<p>複数ピアクリプトマップで IKEv2 を設定できるようになりました。トンネル内のピアがダウンすると、IKEv2 はリスト内の次のピアで SA の確立を試みます。</p> <p>変更されたコマンドはありません。</p>
複数証明書認証のユーザー名オプション	<p>複数証明書認証で、1つの証明書 (マシン証明書) または2つ目の証明書 (ユーザー証明書) のどちらからの属性を AAA 認証に使用するかを指定できるようになりました。</p> <p>新規/変更されたコマンド : username-from-certificate-choice、secondary-username-from-certificate-choice</p>

ファイアウォール機能の概要

ファイアウォールは、外部ネットワーク上のユーザーによる不正アクセスから内部ネットワークを保護します。また、ファイアウォールは、人事部門ネットワークをユーザーネットワークから分離するなど、内部ネットワーク同士の保護も行います。Web サーバーまたは FTP サーバーなど、外部のユーザーが使用できるようにする必要のあるネットワーク リソースがあれば、ファイアウォールで保護された別のネットワーク（非武装地帯（DMZ）と呼ばれる）上に配置します。ファイアウォールによって DMZ に許可されるアクセスは限定されますが、DMZ にあるのは公開サーバーだけのため、この地帯が攻撃されても影響を受けるのは公開サーバーに限定され、他の内部ネットワークに影響が及ぶことはありません。また、特定アドレスだけに許可する、認証または認可を義務づける、または外部の URL フィルタリング サーバーと協調するといった手段によって、内部ユーザーが外部ネットワーク（インターネットなど）にアクセスする機会を制御することもできます。

ファイアウォールに接続されているネットワークに言及する場合、外部ネットワークはファイアウォールの手前にあるネットワーク、内部ネットワークはファイアウォールの背後にある保護されているネットワーク、そして DMZ はファイアウォールの背後にあるが、外部ユーザーに制限付きのアクセスが許されているネットワークです。ASA を使用すると、数多くのインターフェイスに対してさまざまなセキュリティポリシーが設定できます。このインターフェイスには、多数の内部インターフェイス、多数の DMZ、および必要に応じて多数の外部インターフェイスが含まれるため、ここでは、このインターフェイスの区分は一般的な意味で使用するだけです。

セキュリティ ポリシーの概要

他のネットワークにアクセスするために、ファイアウォールを通過することが許可されるトラフィックがセキュリティポリシーによって決められます。デフォルトでは、内部ネットワーク（高セキュリティ レベル）から外部ネットワーク（低セキュリティ レベル）へのトラフィックは、自由に流れることが ASA によって許可されます。トラフィックにアクションを適用してセキュリティ ポリシーをカスタマイズすることができます。

アクセス ルールによるトラフィックの許可または拒否

アクセスルールを適用することで、内部から外部に向けたトラフィックを制限したり、外部から内部に向けたトラフィックを許可したりできます。ブリッジグループ インターフェイスでは、EtherType アクセスルールを適用して、非 IP トラフィックを許可できます。

NAT の適用

NAT の利点のいくつかを次に示します。

- 内部ネットワークでプライベートアドレスを使用できます。プライベートアドレスは、インターネットにルーティングできません。
- NAT はローカルアドレスを他のネットワークから隠蔽するため、攻撃者はホストの実際のアドレスを取得できません。

- NAT は、重複 IP アドレスをサポートすることで、IP ルーティングの問題を解決できます。

IP フラグメントからの保護

ASA は、IP フラグメント保護を提供します。この機能は、すべての ICMP エラー メッセージの完全なリアセンブリと、ASA 経由でルーティングされる残りの IP フラグメントの仮想リアセンブリを実行します。セキュリティチェックに失敗したフラグメントは、ドロップされログに記録されます。仮想リアセンブリはディセーブルにできません。

HTTP、HTTPS、または FTP フィルタリングの適用

アクセスリストを使用して、特定の Web サイトまたは FTP サーバーへの発信アクセスを禁止できますが、このような方法で Web サイトの使用方法を設定し管理することは、インターネットの規模とダイナミックな特性から、実用的とはいえません。

ASA でクラウド Web セキュリティを設定したり、URL およびその他のフィルタリングサービス（ASA CX や ASA FirePOWER など）を提供する ASA モジュールをインストールすることができます。ASA は、Cisco Web セキュリティ アプライアンス（WSA）などの外部製品とともに使用することも可能です。

アプリケーション インспекションの適用

インспекションエンジンは、ユーザーのデータ パケット内に IP アドレッシング情報を埋め込むサービスや、ダイナミックに割り当てられるポート上でセカンダリ チャネルを開くサービスに必要です。これらのプロトコルは、ASA によるディープ パケット インспекションの実行を必要とします。

サポート対象のハードウェアモジュールまたはソフトウェアモジュールへのトラフィックの送信

一部の ASA モデルでは、ソフトウェア モジュールの設定、またはハードウェア モジュールのシャーシへの挿入を行うことで、高度なサービスを提供することができます。これらのモジュールを通じてトラフィック インспекションを追加することにより、設定済みのポリシーに基づいてトラフィックをブロックできます。また、これらのモジュールにトラフィックを送信することで、高度なサービスを利用することができます。

QoS ポリシーの適用

音声やストリーミング ビデオなどのネットワーク トラフィックでは、長時間の遅延は許容されません。QoS は、この種のトラフィックにプライオリティを設定するネットワーク機能です。QoS とは、選択したネットワーク トラフィックによりよいサービスを提供するネットワークの機能です。

接続制限と TCP 正規化の適用

TCP 接続、UDP 接続、および初期接続を制限することができます。接続と初期接続の数を制限することで、DoS 攻撃（サービス拒絶攻撃）から保護されます。ASA では、初期接続の制限を利用して TCP 代行受信を発生させます。代行受信によって、TCP SYN パケットを使用してインターフェイスをフラッディングする DoS 攻撃から内部システムを保護します。初期接続とは、送信元と宛先の間で必要になるハンドシェイクを完了していない接続要求のことです。

TCP 正規化は、正常に見えないパケットをドロップするように設計された高度な TCP 接続設定で構成される機能です。

脅威検出のイネーブル化

スキャン脅威検出と基本脅威検出、さらに統計情報を使用して脅威を分析する方法を設定できます。

基本脅威検出は、DoS 攻撃などの攻撃に関係している可能性のあるアクティビティを検出し、自動的にシステム ログ メッセージを送信します。

典型的なスキャン攻撃では、あるホストがサブネット内の IP アドレスにアクセスできるかどうかを 1 つずつ試みます（サブネット内の複数のホストすべてを順にスキャンするか、1 つのホストまたはサブネットの複数のポートすべてを順にスイープする）。スキャン脅威検出機能は、いつホストがスキャンを実行するかを判別します。トラフィック署名に基づく IPS スキャン検出とは異なり、ASA のスキャン脅威検出機能は、スキャン アクティビティに関して分析できるホスト統計を含む膨大なデータベースを維持します。

ホスト データベースは、不審なアクティビティを追跡します。このようなアクティビティには、戻りアクティビティのない接続、閉じているサービス ポートへのアクセス、脆弱な TCP 動作（非ランダム IPID など）、およびその他の多くの動作が含まれます。

攻撃者に関するシステム ログ メッセージを送信するように ASA を設定できます。または、自動的にホストを排除できます。

ファイアウォール モードの概要

ASA は、次の 2 つのファイアウォール モードで動作します。

- ルーテッド
- トランスペアレント

ルーテッドモードでは、ASA は、ネットワークのルータ ホップと見なされます。

トランスペアレントモードでは、ASA は「Bump In The Wire」または「ステルス ファイアウォール」のように動作し、ルータホップとは見なされません。ASA は「ブリッジグループ」の内部および外部インターフェイスと同じネットワークに接続します。

トランスペアレント ファイアウォールは、ネットワーク コンフィギュレーションを簡単にするために使用できます。トランスペアレントモードは、攻撃者からファイアウォールが見えな

いようにする場合にも有効です。トランスペアレントファイアウォールは、他の場合にはルーテッドモードでブロックされるトラフィックにも使用できます。たとえば、トランスペアレントファイアウォールでは、EtherType アクセスリストを使用するマルチキャストストリームが許可されます。

ルーテッドモードでブリッジグループの設定、およびブリッジグループと通常インターフェイスの間のルートの設定を行えるように、ルーテッドモードでは Integrated Routing and Bridging をサポートしています。ルーテッドモードでは、トランスペアレントモードの機能を複製できません。マルチコンテキストモードまたはクラスタリングが必要ではない場合、代わりにルーテッドモードを使用することを検討してください。

ステートフルインスペクションの概要

ASA を通過するトラフィックはすべて、アダプティブセキュリティアルゴリズムを使用して検査され、通過が許可されるか、またはドロップされます。単純なパケットフィルタは、送信元アドレス、宛先アドレス、およびポートが正しいかどうかはチェックできますが、パケットシーケンスまたはフラグが正しいかどうかはチェックしません。また、フィルタはすべてのパケットをフィルタと照合してチェックするため、処理が低速になる場合があります。



(注) TCP ステートバイパス機能を使用すると、パケットフローをカスタマイズできます。

ただし、ASA のようなステートフルファイアウォールは、パケットの次のようなステートについて検討します。

- 新規の接続かどうか。

新規の接続の場合、ASA は、パケットをアクセスリストと照合してチェックする必要があります。これ以外の各種のタスクを実行してパケットの許可または拒否を決定する必要があります。このチェックを行うために、セッションの最初のパケットは「セッション管理パス」を通過しますが、トラフィックのタイプに応じて、「コントロールプレーンパス」も通過する場合があります。

セッション管理パスで行われるタスクは次のとおりです。

- アクセスリストとの照合チェック
- ルートルックアップ
- NAT 変換 (xlates) の割り当て
- 「ファストパス」でのセッションの確立

ASA は、TCP トラフィックのファストパスに転送フローとリバースフローを作成します。ASA は、高速パスも使用できるように、UDP、ICMP (ICMP インスペクションがイネーブルの場合) などのコネクションレス型プロトコルの接続状態の情報も作成するので、これらのプロトコルもファストパスを使用できます。



- (注) SCTP などの他の IP プロトコルの場合、ASA はリバース パスフローを作成しません。そのため、これらの接続を参照する ICMP エラー パケットはドロップされます。

レイヤ7インスペクションが必要なパケット（パケットのペイロードの検査または変更が必要）は、コントロールプレーンパスに渡されます。レイヤ7インスペクションエンジンは、2つ以上のチャネルを持つプロトコルが必要です。2つ以上のチャネルの1つは周知のポート番号を使用するデータチャネルで、その他はセッションごとに異なるポート番号を使用するコントロールチャネルです。このようなプロトコルには、FTP、H.323、および SNMP があります。

- 確立済みの接続かどうか。

接続がすでに確立されている場合は、ASA でパケットの再チェックを行う必要はありません。一致するパケットの大部分は、両方向で「ファースト」パスを通過できます。高速パスで行われるタスクは次のとおりです。

- IP チェックサム検証
- セッションルックアップ
- TCP シーケンス番号のチェック
- 既存セッションに基づく NAT 変換
- レイヤ3ヘッダー調整およびレイヤ4ヘッダー調整

レイヤ7インスペクションを必要とするプロトコルに合致するデータパケットも高速パスを通過できます。

確立済みセッションパケットの中には、セッション管理パスまたはコントロールプレーンパスを引き続き通過しなければならないものがあります。セッション管理パスを通過するパケットには、インスペクションまたはコンテンツフィルタリングを必要とする HTTP パケットが含まれます。コントロールプレーンパスを通過するパケットには、レイヤ7インスペクションを必要とするプロトコルのコントロールパケットが含まれます。

VPN 機能の概要

VPN は、TCP/IP ネットワーク（インターネットなど）上のセキュアな接続で、プライベートな接続として表示されます。このセキュアな接続はトンネルと呼ばれます。ASA は、トンネリングプロトコルを使用して、セキュリティパラメータのネゴシエート、トンネルの作成および管理、パケットのカプセル化、トンネルを通じたパケットの送信または受信、パケットのカプセル化の解除を行います。ASA は、双方向トンネルのエンドポイントとして機能します。たとえば、プレーンパケットを受信してカプセル化し、それをトンネルのもう一方のエンドポイントに送信することができます。そのエンドポイントで、パケットはカプセル化を解除され、最終的な宛先に送信されます。また、セキュリティアプライアンスは、カプセル化されたパ

ケットを受信してカプセル化を解除し、それを最終的な宛先に送信することもできます。ASA は、これらの機能を実行するためにさまざまな標準プロトコルを起動します。

ASA は、次の機能を実行します。

- トンネルの確立
- トンネル パラメータのネゴシエーション
- ユーザーの認証
- ユーザー アドレスの割り当て
- データの暗号化と復号化
- セキュリティ キーの管理
- トンネルを通じたデータ転送の管理
- トンネルエンドポイントまたはルータとしての着信と発信のデータ転送の管理

ASA は、これらの機能を実行するためにさまざまな標準プロトコルを起動します。

セキュリティ コンテキストの概要

単一の ASA は、セキュリティ コンテキストと呼ばれる複数の仮想デバイスにパーティション化できます。各コンテキストは、独自のセキュリティ ポリシー、インターフェイス、および管理者を持つ独立したデバイスです。マルチ コンテキストは、複数のスタンドアロン デバイスを使用することに似ています。マルチ コンテキスト モードでは、ルーティング テーブル、ファイアウォール機能、IPS、管理など、さまざまな機能がサポートされています。ただし、サポートされていない機能もあります。詳細については、機能に関する各章を参照してください。

マルチ コンテキスト モードの場合、ASA には、セキュリティ ポリシー、インターフェイス、およびスタンドアロン デバイスで設定できるほとんどのオプションを識別するコンテキストごとのコンフィギュレーションが含まれます。システム管理者がコンテキストを追加および管理するには、コンテキストをシステム コンフィギュレーションに設定します。これが、シングル モード設定と同じく、スタートアップ コンフィギュレーションとなります。システム コンフィギュレーションは、ASA の基本設定を識別します。システム コンフィギュレーションには、ネットワーク インターフェイスやネットワーク設定は含まれません。その代わりに、ネットワーク リソースにアクセスする必要があるときに（サーバーからコンテキストをダウンロードするなど）、システムは管理コンテキストとして指定されているコンテキストのいずれかを使用します。

管理コンテキストは、他のコンテキストとまったく同じです。ただし、ユーザーが管理コンテキストにログインすると、システム管理者権限を持つので、システム コンテキストおよび他のすべてのコンテキストにアクセス可能になる点が異なります。

ASA クラスタリングの概要

ASA クラスタリングを利用すると、複数の ASA をグループ化して、1つの論理デバイスにすることができます。クラスタは、単一デバイスのすべての利便性（管理、ネットワークへの統合）を備える一方で、複数デバイスによって高いスループットおよび冗長性を達成します。

すべてのコンフィギュレーション作業（ブートストラップ コンフィギュレーションを除く）は、制御ユニット上でのみ実行します。コンフィギュレーションは、メンバーユニットに複製されます。

特殊なサービスおよびレガシー サービス

一部のサービスのマニュアルは、主要な設定ガイドおよびオンラインヘルプとは別の場所にあります。

特殊なサービスに関するガイド

特殊なサービスを利用して、たとえば、電話サービス（Unified Communications）用のセキュリティプロキシを提供したり、ボットネットトラフィックフィルタリングを Cisco アップデートサーバーのダイナミックデータベースと組み合わせて提供したり、Cisco Webセキュリティアプライアンス用の WCCP サービスを提供したりすることにより、ASA と他のシスコ製品の相互運用が可能になります。これらの特殊なサービスの一部については、別のガイドで説明されています。

- [『Cisco ASA Botnet Traffic Filter Guide』](#)
- [『Cisco ASA NetFlow Implementation Guide』](#)
- [『Cisco ASA Unified Communications Guide』](#)
- [『Cisco ASA WCCP Traffic Redirection Guide』](#)
- [『SNMP Version 3 Tools Implementation Guide』](#)

レガシー サービス ガイド

レガシー サービスは現在も ASA でサポートされていますが、より高度なサービスを代わりに使用できる場合があります。レガシーサービスについては別のガイドで説明されています。

[『Cisco ASA Legacy Feature Guide』](#)

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- RIP の設定
- ネットワーク アクセスの AAA 規則

- IP スプーフィングの防止などの保護ツールの使用 (**ip verify reverse-path**)、フラグメントサイズの設定 (**fragment**)、不要な接続のブロック (**shun**)、TCP オプションの設定 (ASDM 用)、および基本 IPS をサポートする IP 監査の設定 (**ip audit**)。
- フィルタリング サービスの設定

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。